

2021.1 vol. **1170**



2020年8月、修復現場で行われたプロジェクトの修了式にて。日本ユネスコ協会連盟、アンコール人材養成支援機構 (JST) より「修了証」を授与

CONTENTS

- 1 特集:バイヨン寺院 ナーガ像・シンハ像 修復プロジェクトの足跡
- 3 新年ご挨拶
- 4 TOPICS
 - ●首里城復興ユネスコ募金の贈呈報告
 - ●書きそんじハガキ・キャンペーン 2021
- 7 ユネスコ活動の広場
- 8 活動報告
 - ●アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム
 - ●世界寺子屋運動
 - ●三菱アジア子ども絵日記フェスタ
- 10 ●理事会·評議員会報告
 - ●専門小委員会の組織改編について
 - ●新規加入維持会員のご紹介
- 11 お知らせ・募集

世界遺産『アンコール』バイヨン寺院 ナーガ像・シンハ像修復プロジェクト終了

日本ユネスコ協会連盟では、世界遺産『アンコール』遺跡群のひとつバイヨン寺院において、2012年から、この寺院の外回廊を飾る彫像修復・人材育成プロジェクトを実施してきた。約8年半の月日を経て2020年8月、対象エリアの修復作業を終えることができた。修復された総数は、ナーガ像73体、シンハ像23体、欄干の部材は721部材を数えた。

本プロジェクトでは、将来世代への技術継承をカンボジア人自身が担えるよう、技能員の養成も主な目的のひとつであった。上記写真の技能員9名は、アンコール遺跡群の保全対象地域に建つ寺子屋の村などから募集した修復作業未経験の若手青年であったが、この8年半で目を見張る成長を遂げ、遺跡修復現場を支える人材となった。本プロジェクト終了後は日本国政府アンコール遺跡救済チーム (JASA) の技能員として採用されることとなり、今後の活躍が期待される。

きょういくで、あしたへいく。

.

世界遺産活動

カンボジア バイヨン寺院 ナーガ像・シンハ像 修復プロジェクトの足跡

ONELIA I/IST IASA

カンボジアの世界遺産『アンコール』遺跡群のひとつ、バイヨン寺院。日本ユネスコ協会連盟では、寺院の外回廊(第一回廊)にあるナーガ(蛇)像と欄干、シンハ(獅子)像の修復、そして、現地の修復技能者の育成を2012年から実施してきた。多くの方々のご支援のもと、このプロジェクトがついに完了した。 (事業部:宍戸 亮子)

散乱していた遺跡を元の位置に、オリジナルの部材で



9世紀以来、カンボジアのアンコール王朝によって築かれた『アンコール』遺跡群。15世紀に王朝が滅びてから、数世紀にわたってジャングルに取り残されたままだった。フランス植民地時代の1860年に

遺跡が「発見」されて以降、修復・研究が進められた。しかし、独立闘争に続いて内戦状態となり、長い不遇の歴史を辿ってきた。その間、全体的に破損と劣化が進み、修復に携わる人材・技術が不足しているなど、世界遺産となってからも維持・保全の上で課題が山積していた。



修復前 (写真左) は、ほぼすべての欄干やナーガ像の部材が 崩落し、周囲に散乱していた。本プロジェクトにより、このエ リアの欄干部材はほぼすべて元の位置が特定され、オリジナ ル部材で修復することができ、景観的にも大きく改善された (写真右)。

ナーガ像73体、シンハ像23体など修復



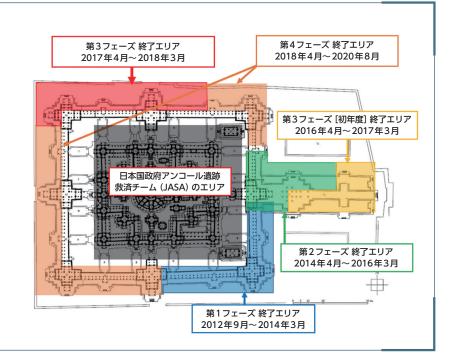
世界遺産は、遺跡の形状や材料などのオリジナリティを尊重する「オーセンティシティ(真正性または真実性)」が重要であると定められている。破損して崩落・散乱したまま放置された各彫像の修復にあたっては、JASAの方針に従い、可能な限りオリジナル部材を生かし、遺失部の復元ではなく、これ以上の劣化・崩落を防ぐために必要な箇所への補強を行い、原位置に戻す方針がとられた。また、研究で解明された伝統的な建築技術を継承することも重視された。地元技能員たちの手で修復された総数は、ナーガ像73体、シンハ像23体、欄干の部材721部材にのぼる。

◀修復はオリジナリティを尊重して行われた





本プロジェクトは、バイヨン寺院全体の修復、調査研究を行う日本国政府アンコール遺跡救済チーム (JASA) の技術協力を得て、アンコール人材養成支援機構 (JST) の共同事業として実施された。修復は2ヵ年ずつの段階 (フェーズ) に区切って進み、全体で4フェーズ、約8年半を要した(右図参照)。



未経験から現場を支える人材に

技能員9名は、『アンコール』遺跡群の保全対象地域に建つ 寺子屋の村などから募集された未経験の人たちだ。中には小学 校を1年で退学し、建設現場などで仕事をしてきた人もいる。

プロジェクトでどのような経験を積んだか語ってくれた。

ノヴ・ソピアックさん (33) ▶

私は考古学が専門で、現場マネージャーとして携わりました。調査、発掘、図面起こし、彫刻修復を担当し、たくさんの学びがありました。JASAのスタッフとなっても、この経験を生かしたいです。



コン・ラックスメイさん (35) ▶

私は石材の修復、図面おこし、クレーン操作などを担当しました。最も習熟できたのは石材修復です。技能員仲間で知識や経験をお互いに補い、困ったときには支え合いました。



モイ・モーンさん (30) ▶

石材修復、新材準備、石材のさまざまな処理を担当しました。JASAでも経験豊富な方々から学んで、今度は自分が技術を若い人に伝える側になりたいです。



<u>塗り絵教材を使って体験する教育プログラム</u>

遺跡の修復と並行して、子どもたちが自国の歴史と文化に親しみ、理解する機会を提供することを目的に、塗り絵教材を活用した世界遺産教育を行った。教材を使った学習の後、子どもたちは遺跡を訪れ、教材にあるレリーフなどを探す体験学習を楽しんだ。



▲バイヨン寺院の修復現場を見学する

技能員のメッセージ動画が当連盟HPから視聴できます。

[動画①]

[動画②]

[動画③]

[動画④]









公益社団法人日本ユネスコ協会連盟会長

明けましておめでとうございます。

昨年来、猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、私たちの日常を 大きく変えました。感染症により、世界中の亡くなられた方々、そして 感染された方々に心からお見舞いを申し上げます。また、医療関係者を はじめ、それぞれの立場で、対応に尽力されているすべての方々に敬意 を表します。

私たちの活動も、多くの事業が中止を余儀なくされました。その一方で、新たにコロナ対策支援をはじめとする事業を「世界寺子屋運動」を展開する地域で立ち上げ、必要な人へ必要な物資を迅速に届けることができました。今後も、コロナによる学校閉鎖等を理由に教育から離脱せざるを得なかった子どもたちの復学支援を強化する予定です。

日本各地のユネスコ協会・クラブでも、これまで実施してきた活動を コロナ禍にも拘わらず工夫を凝らし、また、オンラインの活用により広 がりを持った事例もあり、大変心強く感じました。地域の教育機関等へ のマスクの提供やチャリティイベントを実施するなど、新たな活動やつ ながりも生まれています。加えて、ユネスコ国内委員会との連携強化に も期待したいと思います。

日本ユネスコ協会連盟でも、このような状況を受けオンライン会議を 導入しました。会議や打ち合わせなど、双方向のコミュニケーションに 実用可能であり、遠方からの参加も可能というメリットがあります。課 題となっている各協会間の情報連携や、コミュニケーションの不足を解 決する有効な手段として、積極的に活用を進めていく考えです。

さらに、定期的な「YouTubeを活用した動画配信」を開始しました。 すでに、この動画を勉強会で活用するなどの動きがでてきていると伺っ ています。今後も「対面による双方向」と「大勢への情報発信」の両面 からオンラインの活用も進めていきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症は、医療や経済分野をはじめ、格差や分断といった社会問題を顕在化させました。このようなときだからこそ、ユネスコの理念である「人の心の中に平和のとりでを築く」という考えが重要です。民間ユネスコ運動を推進する私たちだからこそできる活動をともに考え、行動していきましょう。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2021年1月

首里城復興ユネスコ募金の贈呈報告

全国約3万8000人の首里城復興への想いを沖縄に届けました

2019年10月31日の火災で焼失した首里城の復興支援に向けて呼びかけた「首里城復興ユネスコ募金」は、2020年10月末をもって受け付けを終了しました。この間、日本各地からのべ約3万8000人、計3896万926円(2020年10月23日現在)の募金が寄せられました。募金にご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

(企画部:上岡 あい)



首里城は「首里城跡」として、世界遺産『琉球王国のグスク及び関連遺産群』の構成資産のひとつとして登録されている

2020年10月30日(金)、募金の全額を沖縄県および一般財団法人沖縄美ら島財団へ贈呈。募金とともに寄せられた何百件もの応援メッセージも目録パネルに収め、沖縄県玉城デニー知事らにお渡ししました。

首里城の再建は2026年の完成を予定しているそうです。完成まであと5年ほどかかりますが、沖縄の宝である美しい朱色の首里城が再び蘇り、未来に引き継がれることを願ってやみません。

募金はさまざまな部材や 収蔵品の復元に活用

当連盟の募金を含め、沖縄県に集まった"沖縄県首里城復興基金"の使途としては、正殿の木材や赤瓦、大龍柱等の石彫刻、唐破風妻飾等の木彫刻や龍頭棟飾等の焼物など、屋外彫刻、扁額などの室内装飾の復元のほか、正殿、北殿および南殿等の復元に関する事業への活用が予定されています。

一方、沖縄美ら島財団に贈呈した募金は、同財団が運営する"首里城基金"の一部として、火災で損傷した収蔵品(漆器など)の修復費に充てられる予定。現在、損傷調査を行っており、まずは、収蔵品の特定に1~2年かかる見込みだそうです。



修復への準備が進められている首里城

沖縄県への寄付金額 3000万円



写真左から、沖縄県ユネスコ協会 久保田照子副会長、 日本ユネスコ協会連盟 鈴木佑司 理事長、沖縄県 玉城 デニー知事、沖縄でいごユネスコ協会 末吉重人会長

一般財団法人沖縄美ら島財団への寄付金額 896万926円



写真左から、沖縄県ユネスコ協会 東良和会長、沖縄 美ら島財団 花城良廣理事長、日ユ協連 鈴木佑司理 事長、沖縄でいごユネスコ協会 末吉重人会長



TOPICS ハガキ1枚からできる国際協力

書きそんじハガキ・キャン

「世界寺子屋運動」では活動のための募金を集めると同時に、国内で書きそんじハガキ (書き間違えるなどして投函しなかったハガキなど)を集め、それらを換金し、人びとが無償で学べる教育の場 (寺子屋)を提供しています。1989年の開始以来、世界44ヵ国1地域でおよそ134万人がさまざまな形で学ぶ機会を得ることができました。皆さまのご支援に感謝申し上げます。 (事業部:鴨志田智也)



書きそんじ ハガキが 1枚 11枚 100枚 Ш Ш Ш ノート2冊 ひとりがひと月 ひとりが寺子屋で (アフガニスタンの場合) 学べます 1年間 (9ヵ月) (カンボジアの寺子屋の場合) 識字クラスに 通えます

▲寺子屋の幼稚園クラス (ネパール)

前回寄せられた"タンス遺産"は4536万円分

昨年のキャンペーン (2019年12月~2020年11月) でも、各地のユネスコ協会・クラブをはじめ、多くの企業、各種団体、学校および個人の皆さまから多くの書きそんじハガキや切手を含む "タンス遺産" をお送りいただきました。ご支援の総額は約4536万円分にのぼり、ハガキにすると96.5万枚分に相当します。

2019年度は、皆さまからのご協力によってアフガニスタン (バグラミ寺子屋)、カンボジア (ポペル寺子屋) およびネパール (ギタナガール寺子屋 P9に詳細) で各1軒の寺子屋が完成しました。ミャンマーを含めた4ヵ国で、教育を受ける機会がなかった6199人が識字クラスや小学校クラス、幼稚園クラスのほか技術訓練などを受講することができました。



▲カンボジアに新たにつくられたポペル寺子屋





新型コロナウイルスへの対応 今後は教育面での支援へ

日本ユネスコ協会連盟では、2020年4月から世界寺子屋 運動を実施する4ヵ国で新型コロナウイルス対策支援を実 施。マスクや個人防護具、体温計などの医療備品をはじめ、 ロックダウンで困窮した世帯への食糧支援、地域の人びとへ の予防啓発活動を行ってきました。

世界寺子屋運動では今後、教育を通じた新型コロナウイル スへの対策を行っていきます。活動を実施している国を含め、 多くの国では新型コロナウイルスの拡大が子どもたちの教育 に大きな影響を及ぼしています。ロックダウンによる学校の 休校や、家庭の収入減少による中途退学の増加が懸念されて います。そのため、中途退学してしまった子どもや、その危 機にある子どもたちへの教育の拡充 (小学校や中学校クラス など)、経済的に困窮した家庭への職業訓練などを通じて、子 どもたちが学業を続けられるよう支援していきます。

引き続き、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



▲新型コロナウイルスによって生活が困窮した家庭に、寺子屋を通じて 食糧を支援した(ネパール)

世界寺子屋運動とは?

すべての人には学ぶ権利があります。経済的理由などで 学校に行けない子どもたち、学校に行けず大人になった人 たちに学びの機会を提供するため、世界寺子屋運動は始ま

りました。地元の人 ■ たちによる自立運営 を目指しています。



▶寺子屋の青年クラスで 学ぶ(ミャンマー)

書きそんじ ハガキで 子どもたちの お役に立てたら

うれしいです

書きそんじ ハガキ、友人にも 協力していただき ました。今後も続けて いこうと思って おります

掃除をして いたら出て きました。少し ですがお役立て ください

"タンス遺産"とともに、

たくさんの タンス遺産がでて きました。世界の 子どもたちのために 役立てていただ ければ幸いです

ありか"とうこ"ざいます!



世界寺子屋運動 30 周年おめでとう ございます。ハガキ、 切手など少しでも お役に立てばと思い 送らせていただき ます

家でずっと 保管していたもの です。少しでも お役に立てれば 幸いです

手元に切手が ありましたので 送ります。活用して いただけたら うれしいです

世界の 子どもたちが 教育の機会に 恵まれます ように



宮城県・鹿折小学校からも メッセージとともにたくさ んのハガキが送られた

引き続き、皆さまのご参加、ご協力をお願いいたします!

送付・お問い合わせ先

〒 150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-3-1 朝日生命恵比寿ビル 12階 公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟 書きそんじハガキ係 TEL 03-5424-1121 Email: kakisonji@unesco.or.jp



コロナ禍でも学べる場を提供

特定非営利活動法人維新隊ユネスコクラブ(東京都)

同クラブは、高校生および大学生のボランティア講師による週1回の食事つき個別指導型無料塾「ステップアップ塾」と、食事つき自習室「STUDY CAMP」をかねてより行ってきた。新型コロナウイルスに伴う休校による自宅学習は、家庭環境に大きく依存することになり、新たな教育格差を生み出しているといわれる。そうした中、コロナ禍でも学びの場を守ろうと無料塾ではオンラインによる個別学習指導を開始し、必要な者にはタブレット端末の貸し出しなどオンライン環境の提供を行っている。軽食を提供する自習室は、企業の支援を受け徹底した感染予防策をした上で継続。社会の状況に合わせ、ニーズの変化にさまざまな工夫をしながら学習支援を継続し、子どもたちが希望を持って学べる場を守る活動を続けている。



軽食の提供を受けながら自習をする子どもたち

高円宮妃久子殿下 ご臨席 ベイルート支援公演 「ベイルートへの祈り」能舞台公演とチャリティ・ディナー 個人会員世話人会

2020年8月4日に起こったレバノン、ベイルートでの大爆発により約30万人以上が被災された。亡くなられた方々、残された方々の魂を鎮め、この苦難を乗り越え進むべき道をともに求めていきたいと、10月4日(日)にチャリティパーティーを開催。能楽や音楽、芸術そして文化を通して絆を深めることができた。

集まった寄付金の一部は世界寺子屋運動へ。今後3ヵ国で 建設予定のラーニングセンターへと夢を託す。



在日レバノン大使 ニダル・ヤヒヤー氏(右から2人目)と 個人会員世話人会代表 炭谷 宇紀子氏(右端)

オンラインで料理講座を開催

名古屋ユネスコ協会青年部「若鯱組」(愛知県)

名古屋ユネスコ協会青年部「若鯱組」は、2020年11月14日(土)に、食という身近なテーマをもとに「国際理解講座vol.8 "世界の料理"」をオンライン開催した。大学生と社会人あわせて14名がそれぞれ自宅から参加。カナダ在住のカナダ人講師シンディさんとオンライン中継でつくり方を教わりながら、各自が事前に用意した食材でカナダ料理シェパードパイをつくった。

さらに、カナダの国土や文化についてのクイズや質疑応答を行い、参加者からは「知らなかった文化や料理が学べてとても楽しかった」と感想が寄せられた。この講座は「青少年ユネスコ活動助成事業」により実施された。



それぞれの自宅とカナダをつないでシェパードパイづくりに挑戦!

市内全小・中学校に感染予防グッズを寄贈

白石ユネスコ協会(宮城県)

地元小・中学校を応援しようと、白石ユネスコ協会では、市内13の全小・中学校に手指消毒用アルコール (250ml) 880本を寄贈した。学級内に掲示する感染予防の啓発チラシと、医薬品卸提供の不織布マスクも配布。白石薬剤師会の協力を得て、新型コロナウイルス感染症に関する講義も行った。生徒からは「正しく怖がるという意味がわかった」「しっかりと理解して予防するのが大切」と感想が寄せられた。「青少年ユネスコ活動助成」により実施。



消毒用アルコールとマスクを各校に届けた

2020年度 第7回

アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

~オンライン教員研修会報告~

9月24日(木)・25日(金)、助成校24校38名の先生を対象にオンライン教員研修会を開催した。開会式では、教育を通じて地域に貢献する本事業の重要性について、アクサ生命保険株式会社 安渕聖司社長よりご挨拶を賜った。講師の及川幸彦先生(東京大学)、上田和孝先生(新潟大学)からは、新たな視点の減災教育、学校と地域・外部とのネットワーク構築について学んだ。

東日本大震災の被災地との中継では、気仙沼市教育委員会小山淳教育長の講演、同市立階上小学校、階上中学校、

宮城県多賀城高校の発表が行われた。階上中の生徒が、地域総合防災訓練や小学校と連携した防災啓発活動、震災遺構での語り部活動など、自らの経験を伝えてくれたことが印象的だった。

参加した先生からは、「地域との連携・協力が不可欠だが、 自治会やNPOなどへの相談方法がわからない」との声が多 く聞かれた。各ユ協・クラブの皆さまには、災害時に防災拠 点となる学校と地域をつなぐご支援をお願いいたします。 (企画部:藤田 将章)



全国14都府県38地点を結んで初のオンライン開催



階上中の3年生全員が参加して 全国の先生方とディスカッションした

Innovating Energy Technology

エネルギー技術を、究める。

電気、熱エネルギー技術の革新の追求により、 エネルギーを最も効率的に利用できる製品を創り出し、 安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。

F 富士電機

富士電機株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2(ゲートシティ大崎イーストタワー) TEL.03-5435-7111

理事会・評議員会報告

第536回理事会

9月12日(土)、オンラインにより開催した。 審議事項は以下のとおり。

- 1. 会員の入会
- 維持会員2、個人会員2、賛助会員1
- 2. 部会等からの報告・提案事項等
 - (1) 地域代表・青年代表理事会議(8/29)(2) 財務部会(9/4)
- 3. 災害子ども教育支援事業(仮称)の立ち上げ(案)
- 4. 「経理規程」の改定 (案)
- ⇒ 審議の結果、3.を除き、いずれも原案どおり決議された。3.は継続審議となった。

また、以下の報告があった。

- 1. 青少年ユネスコ活動助成緊急第二次募集・ 採択状況
- 2. 「世界寺子屋運動」実施4ヵ国 (アフガニス タン、カンボジア、ネパール、ミャンマー) における、新型コロナウイルス対策の支援 プログラムの開始
- 3. 「SDGsの達成に貢献する民間ユネスコ運動」動画配信の開始
- 4. 「アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム」 実施計画
- 5. 第147回日本ユネスコ国内委員会総会報告
- 6. 代表理事の職務執行状況報告 (2020年5月17日~9月11日)
- 7. 2020年度事業計画進捗状況
- 8. 遺贈に関する対応方針
- 9. 後援・共催事業
- 10. 事務局人事 (4/1付)

第537回理事会

11月14日(土)、オンラインにより開催した。 審議事項は以下のとおり。

- I. 決議事項
- 1. 会員の入会 維持会員2、個人会員1
- 2. 災害子ども教育支援事業 (仮称) の立ち上げ (案)
- 3. 役員 (理事・監事) 及び評議員の選任に 関する選考委員会の設置
- Ⅱ.協議事項
 - ・部会等からの報告・提案事項等
 - (1) 財務部会(11/5)
 - (2) 組織部会 (11/9)
 - (3) 地域代表・青年代表理事会議 (11/14)
- ⇒ 審議の結果、いずれも原案どおり決議 された。

また、以下の報告があった。

- 1. 2020年度中間決算報告
- 2. 首里城復興ユネスコ募金の贈呈
- 3. 「アクサユネスコ協会減災教育プログラム」 オンライン教員研修会実施報告
- 代表理事の職務執行状況報告 (2020年9月13日~11月13日)
- 5. 2020年度事業計画進捗状況
- 6. 後援・共催事業
- 7. 情報セキュリティ監査報告
- 8. 事務局人事 (10/1)
- 9. 今後の活動における動画配信の活用依頼

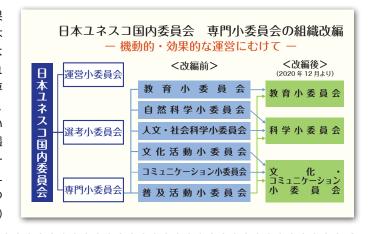
第51回評議員会

11月28日(土)、書面により開催した。報告事項は以下のとおり。

- 1. 部会等からの報告
 - (1) 組織部会
 - (2) 財務部会
 - (3) 地域代表・青年代表理事会議
- 2. 役員 (理事・監事) 及び評議員の選任に関 する選考委員会の設置
- 3. 青少年ユネスコ活動助成緊急第二次募集・ 採択状況
- 4. 2020年度 主要事業報告
 - (1)「世界寺子屋運動」実施4ヵ国 (アフガニスタン、カンボジア、ネパール、ミャンマー) における、新型コロナウイルス対策の支援プログラムの開始
 - (2)「SDGsの達成に貢献する民間ユネス コ運動 | 動画配信の開始
 - (3) 第7回 「アクサ ユネスコ協会 減災教育 プログラム」 オンライン教員研修会
 - (4) 首里城復興ユネスコ募金の贈呈
 - (5) 書きそんじハガキ・キャンペーン 2021 募集開始
 - (6) ユネスコスクール SDGs アシストプロ ジェクト
 - (7) 2020年ユネスコ活動グッドプラクティス賞の応募開始
 - (8) 日ユ協連リーダーセミナーの開催
 - (9) カンボジアオンラインスタディツアーの開催
 - (10) ユネスコスクール全国大会 分科会

日本ユネスコ国内委員会 専門小委員会の組織改編について

社会的課題への対応にスピード感が求められる中、機動的・効果的な運営に向けて専門小委員会を改編することが、第147回日本ユネスコ国内委員会の総会で承認された。改編後、2020年12月より、専門小委員会は3つとなる。ユネスコ協会関係の委員は、これまで全員普及活動小委員会に配属されていたが、改編後は3つの専門小委員会のいずれかに配属されることとなる。今回の改編では、これまで別々に議論していた各分野の専門家と、普及活動の担い手であるユネスコ協会関係の委員との間に情報・知識の共有や議論の場をつくっていくこと、また、教育、科学、文化・コミュニケーションの各分野の議論に、日頃より普及活動を実践している民間ユネスコ運動の立場からの意見を反映していくことも、目的のひとつとなっている。 (事業部:尼子美博)



新規加入維持会員のご紹介

帝人株式会社 専務執行役員 CSR管掌 早川 泰宏

帝人グループは、社会が必要とする新たな価値を創造し「未来の 社会を支える会社」になることを目指しています。持続可能な社 会の実現に向けて、平和で公正な社会づくりを目指す貴連盟の活 動に賛同し参画いたします。

株式会社ディッジ 代表取締役 柳明宏

CG制作を主要事業とするディッジは、地域や海外に寄与すべく様々な活動を行なっております。国境や文化を越えて多様な人々と触れ合い、弊社自身を高めつつ、SDGSに貢献できたらと考えております。

東急不動産ホールディングス株式会社 代表取締役社長 西川 弘典

弊社は「事業活動を通じて社会課題を解決し、サステナブルな社会と成長を実現する」というビジョンを掲げています。教育を通じて持続可能な社会の推進に取り組む貴連盟に賛同し、参画させていただきます。

日比谷総合設備株式会社 代表取締役社長 黒田 長裕

弊社は総合エンジニアリングサービス企業として省エネ・省 CO2関連事業に取り組むとともに、CSR活動をとおして社会貢献活動・地域社会に参画し、貴連盟の活動に貢献させていただきます。

information

お知らせ

日ユ協連YouTubeチャンネル動画配信

10月号でもお伝えしましたが、日本ユネスコ協会連盟では、コロナ禍において、各ユネスコ協会・クラブや一般の方に民間ユネスコ運動に関するさまざまな情報を提供するため、動画配信を開始しています。「SDGsに貢献する民間ユネスコ運動」と題する動画や、日本ユネスコ国内委員による報告などを掲載しています。



■日本ユネスコ協会連盟YouTubeチャンネル https://www.youtube.com/user/NFUAJ

ユネスコスクール全国大会をオンライン開催

「持続可能な開発のための教育 (ESD)」の推進拠点であるユネスコスクールの活動を検証する趣旨で開かれてきた、ユネスコスクール全国大会。12回目となる今回は新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで2020年12月6日(日)に開催されました。日ユ協連は第6分科会を受け持ち、「学校・地域社会・行政の有機的連携によるESDの実践」をテーマに、安田昌則理事のコーディネートの下、ESDがいかに「持続可能な社会の創り手」を社会に生み出しているかについて、北海道羅臼町と愛知県豊橋市での試みから学びました。

みどりの絵コンクール

三菱UFJ環境財団と日ユ協連の共催事業。第45回目となる今回は、コロナ禍にもかかわらず昨年とほとんど変わらない応募数が全国の幼稚園、小学校からありました。「みどりの絵部門」では2万928点から7点(各学年1点)、「わたしが守りたい身近な自然部門」では2072点から2点が最優秀賞に。右の絵は「わたしが守りたい身近な自然部門」の最優秀賞作品で、日本ユネスコ協会連盟賞に選ばれた作品です。



2019年度の標記事業をまとめた冊子を1月中に発行予定です。完成しましたら日ユ協連ホームページ等でお知らせするとともに、奨学金事業にご協力いただいている募金者の方々と会員の皆さまにお送りします。



「まち」神奈川県茅ヶ崎市立 松浪小学校2年 井出 陽奈子



遺産のご寄付(遺贈)をお受けしています

日ユ協連では、遺言によるご寄付 (遺贈) や、お香典などのご寄付をお 受けしております。必要に応じて提 携する弁護士、税理士、信託銀行を ご紹介いたします。皆さまの尊いご 意思を尊重し、諸活動に活用させて いただきます。お手続きについてお 気軽にご相談ください。

■問合せ…遺贈担当



ご希望の方には遺贈案内パンフ レットをお送りします



募集

「第12期ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト」 助成校募集!

日ユ協連は、株式会社三菱UFJ銀行のご協力のもと、SDGs達成に向けてESDを実践するユネスコスクールを対象に、今年度も活動費用の助成を行います。

- ■助成金額…上限10万円枠(70校程度) 上限30万円枠(5校程度)
- ■締切…2021年1月8日(金)正午
- ■特設HP…https://www.unesco.or.jp/sdgs-assist/

ユネスコ活動 グッドプラクティス賞の募集が始まっています!

ユネスコ協会・クラブの課題を解決するヒントは、他のユ協・クラブの活動の中にあるという考えから、各ユ協・クラブの自慢の取り組みを紹介していただきたく、本賞を制定しました。「他のユ協・クラブに私たちの取り組みを真似してほしい」という気

持ちで是非ご応募ください。申請分野は6つに分かれており、各分野の最優秀事業をグッドプラクティス賞として表彰、活動奨励金10万円を贈呈します。申請対象は2016年度から2020年度の間に実施した活動です。



■募集要項…https://www.unesco.or.jp/newsitem/8353/

「日ユ協連リーダーセミナー」オンライン開催

各ユネスコ協会・クラブによる持続可能な開発目標(SDGs)への貢献について考え、検討することを目的とする「日本ユネスコ協会連盟リーダーセミナー」を、2月から3月の隔週土曜日にオンラインで開催します。コロナ禍で協会・クラブ同士のコミュニケーションを進めるIT講座や、地域と学校の連携を模索する講座など4項目をテーマとしています。

■問合せ…事業部

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟は、UNESCO憲章の精神に共鳴した人びとによって1947年、世界にさきがけ仙台で始まった、民間ユネスコ運動の日本における連合体です。現在全国に約280のユネスコ協会・クラブがあります。会長:佐藤美樹 副会長:青木保・引地瑠美子 理事長:鈴木佑司

